

記入日 2020 年 11 月 22 日

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	小島基彰
立候補する役職	学術委員長
大学/学部/学科	摂南大学 薬学部 薬学科
学年	3 年生
所属	関西支部本部、学術委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2019 年 学術委員会所属 2020 年 関西支部本部所属、学術委員会所属
立候補動機	元担当者の推薦、
問題点と改善案	<p>学術の委員会の活動において学術自身に主体的に興味を持ち意欲的に活動に取り組む人が少ないように感じる。そのため、学術自身に興味を提供すると共にそこからの活動を持続しつつ主体的に取り組む環境である必要がある。その為、いままで通り交流を促す場を作りつつ、学術的な活動をこれまで以上に行っていきたいと考えている。</p> <p>主に、学術的な内容があまり活発には、感じられないためこの部分を主に改善させていきたいと思う。具体的には、これまで通り研究内容のサポートを行うとともに、出すためのハードルを下げるように委員会で働きかけていきたいと思う。また、大学の教員や OB などを積極的に企画に呼ぶことでフィードバックを行えるような環境を整えることで中途半端にならないようになどにしたい。</p>
活動計画	<p>新研究班活動計画例</p> <p>4、5 月 アンケート調査を行うためのテーマ決め、</p> <p>6、7 月 決めたテーマの研究手法の決定、アンケート概要の設定</p> <p>8、9 月 アンケートを実施その後アンケートの妥当性を精査</p> <p>10 月 研究結果からの考察、</p> <p>11 月 学会のための要旨作成</p> <p>1 月 学会でのポスター発表</p> <p>12 月 学術委員会による合宿、</p>
所信	<p>団体の信条における新しい価値を学生に与えると共に、大学院または企業などの研究について知ってもらい人の将来を考える指針の一つになる場を提供できるようにしたい。</p> <p>また、様々な情報があふれる現社会において、情報を精査できる医療的リテラシーを身に着けられるようにしたい。</p> <p>委員会全体において、研究的内容、研究の手法を学んでもらうことで、座学のように受動的な学びではなく、主体的に自ら進んで学べるようにすることで、考えるという力を身に着けられるような委員会にしたい。</p> <p>このような活動を通して、委員会を盛り上げていく上に、団体全体にモチベーションを上げるような委員会にしていきたいとも考えています。</p>



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 3 丁目 39-12 ウェストビル 1 階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: <https://apsjapan.org>